

# 一般質問

この定例会では、議案や市政全般について、21人の議員が一般質問を行い、活発な議論を展開しました。

その概要は、次のとおりです。

(一)内には、各党派等からの質問申出時間を記載しています。

党派名など	質問者数	質問時間
水曜会	6人	390分
公明党	5人	240分
誠友会	4人	215分
新政クラブ	1人	70分
市民連合	2人	140分
無所属	3人	各30分

\*6月定例会の一般質問の録画放送を視聴する場合  
各議員記事のQRコードをスマートフォンなどで読み取ると、一般質問の録画放送をインターネットで視聴することができます。

また、[福山市のホームページ](#)  
→ [福山市議会](#) → [議会中継](#)  
→ここからも視聴できます。

## 保育所などの広域入所は



おおた ゆうすけ  
大田 祐介  
水曜会  
(60分)



**問** ①自治体間の運用状況および今後の備後圏域での連携は。

②病児・病後児保育の施設が増えない要因は。また、今後の展開は。

**答** ①広域入所は、現在、里帰り出産や市外で就労している場合などの一定の要件を設けている。昨年度は、市外の保育施設を9人が利用し、市内の保育施設で8人を受け入れた。現在、より利用しやすい制度になるよう、備後圏域の市町で連携して要件緩和について検討している。

②施設が増えない要因として、専用の出入り口を備えた保育室を整備する必要があることや、看護師、保育士の確保が困難であることが挙げられる。このため、10月から施設整備の必要がない訪問型の病児・病後児保育の実証事業に取り組み、利用状況を分析する中で本格実施に向け検討する。

また、備後圏域における広域利用に向け検討する。



市民病院の病児・病後児保育室

## 南部地域の振興策は



つれいし たけのり  
連石 武則  
水曜会  
(60分)



**問** ①令和5年度末の鞆未来トンネルの開通で大型観光バスが通行可能となり大きな期待を寄せているが、南部地域の名所旧跡などにおける駐車場の状況は。

②内海町域での民泊事業がコロナによる中断から4年ぶりに再開された。今後、行政の支援も必要と考えるが。

**答** ①現在、阿伏<sup>あぶと</sup>駐<sup>ちゅう</sup>車<sup>しや</sup>場は大型バスの駐車が可能である。今後、鞆未来トンネルの開通で需要の拡大が見込まれることから地元観光協会の意見も聞きながら大型バスの増設を検討する。道の駅アリストぬまくまは、駐車需要の状況を見極める中で、台数の増加も含め効率的な配置を検討する。

②受け入れ家庭の登録数は一時の約80家庭から現在は約30家庭に減少している。体験型学習の推進などにより、ますます教育民泊のニーズは高まると予想される。継続的な事業運営に向け、必要な支援を継続する。



青い空と海に架かる内海大橋